

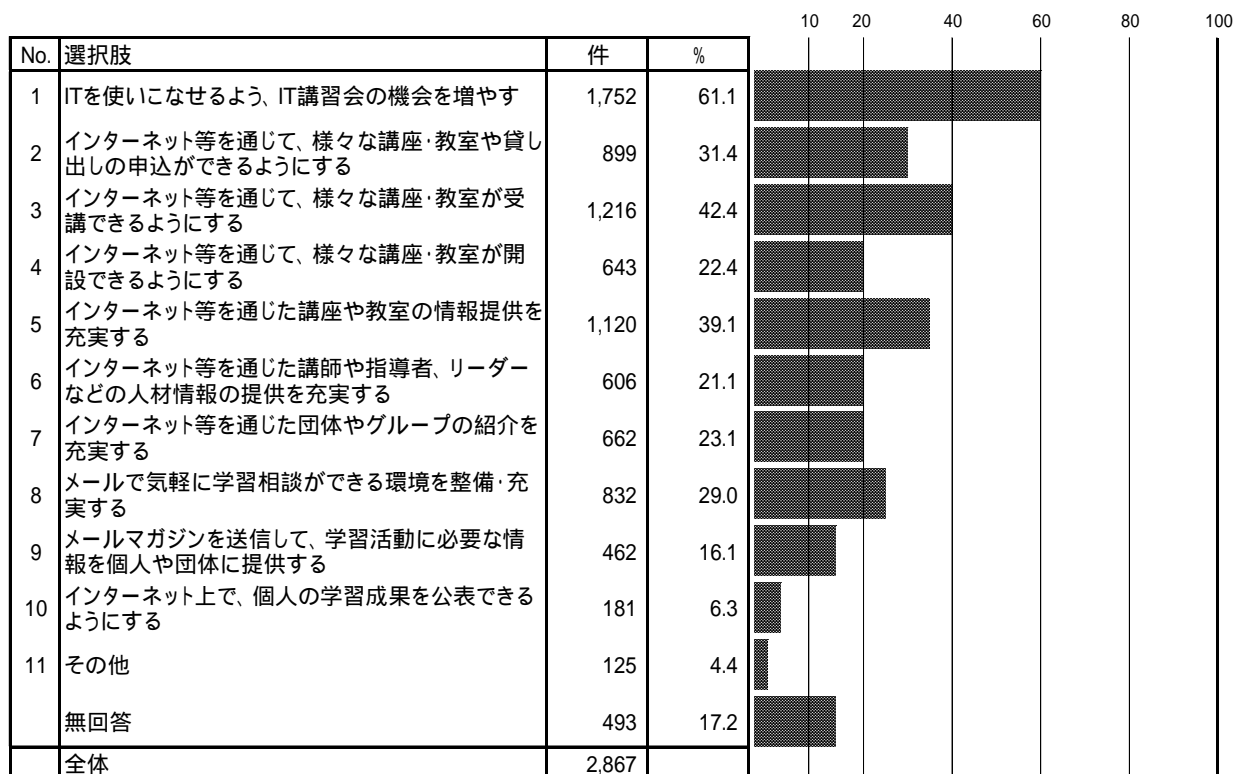
## 4 . 生涯学習体制の整備

### 4 - 1 ITを活用した学習活動に必要な支援

問 19 あなたは、IT（パソコンやインターネット、携帯電話など）を活用した学習活動について、どのような支援が必要だと思いますか。（必要と思われる項目をすべて）

「IT講習会の機会の充実」に対する要望が高い

ITを活用した学習活動に必要な支援については、「ITを使いこなせるよう、IT講習会の機会を増やす」が61.1%で最も多く、次いで「インターネット等を通じて、様々な講座・教室が受講できるようにする」が42.4%、「インターネット等を通じた講座や教室の情報提供を充実する」が39.1%という順になっている。



【年齢】

すべての年代において「ITを使いこなせるよう、IT講習会の機会を増やす」の割合が最も高くなっている中で、40歳代、50歳代ではともに約7割を占めており、特に割合が高くなっている。全体的に年齢の若い年代ほど各項目の割合が高くなっており、20歳代では「メールマガジンを送信して、学習活動に必要な情報を個人や団体に提供する」の割合が他の年代に比べて特に高くなっている。

また、「インターネット等を通じて、様々な講座・教室が受講できるようにする」については、20歳代、40歳代で5割以上を占め、割合が高くなっている。

[上段:件、下段:%]

	基数	ITを使いこなせるよう、IT講習会の機会を増やす	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が受講できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする	インターネット等を通じて、様々な講座・教室が開設できるようにする
全体	2,867	1,752 61.1	899 31.4	1,216 42.4	643 22.4	1,120 39.1	606 21.1	662 23.1	832 29.0	462 16.1	181 6.3	125 4.4	493 17.2	
20歳代	231	147 63.6	86 37.2	126 54.5	57 24.7	130 56.3	59 25.5	65 28.1	97 42.0	75 32.5	18 7.8	10 4.3	2 0.9	
30歳代	380	234 61.6	143 37.6	180 47.4	99 26.1	186 48.9	94 24.7	86 22.6	133 35.0	73 19.2	24 6.3	17 4.5	15 3.9	
40歳代	584	406 69.5	189 32.4	306 52.4	134 22.9	266 45.5	123 21.1	170 29.1	162 27.7	87 14.9	41 7.0	12 2.1	34 5.8	
50歳代	725	513 70.8	278 38.3	344 47.4	188 25.9	314 43.3	190 26.2	204 28.1	240 33.1	138 19.0	47 6.5	28 3.9	74 10.2	
60歳代	567	331 58.4	153 27.0	207 36.5	125 22.0	176 31.0	109 19.2	110 19.4	154 27.2	68 12.0	35 6.2	27 4.8	158 27.9	
70歳以上	365	120 32.9	49 13.4	53 14.5	40 11.0	47 12.9	31 8.5	25 6.8	44 12.1	21 5.8	16 4.4	31 8.5	199 54.5	

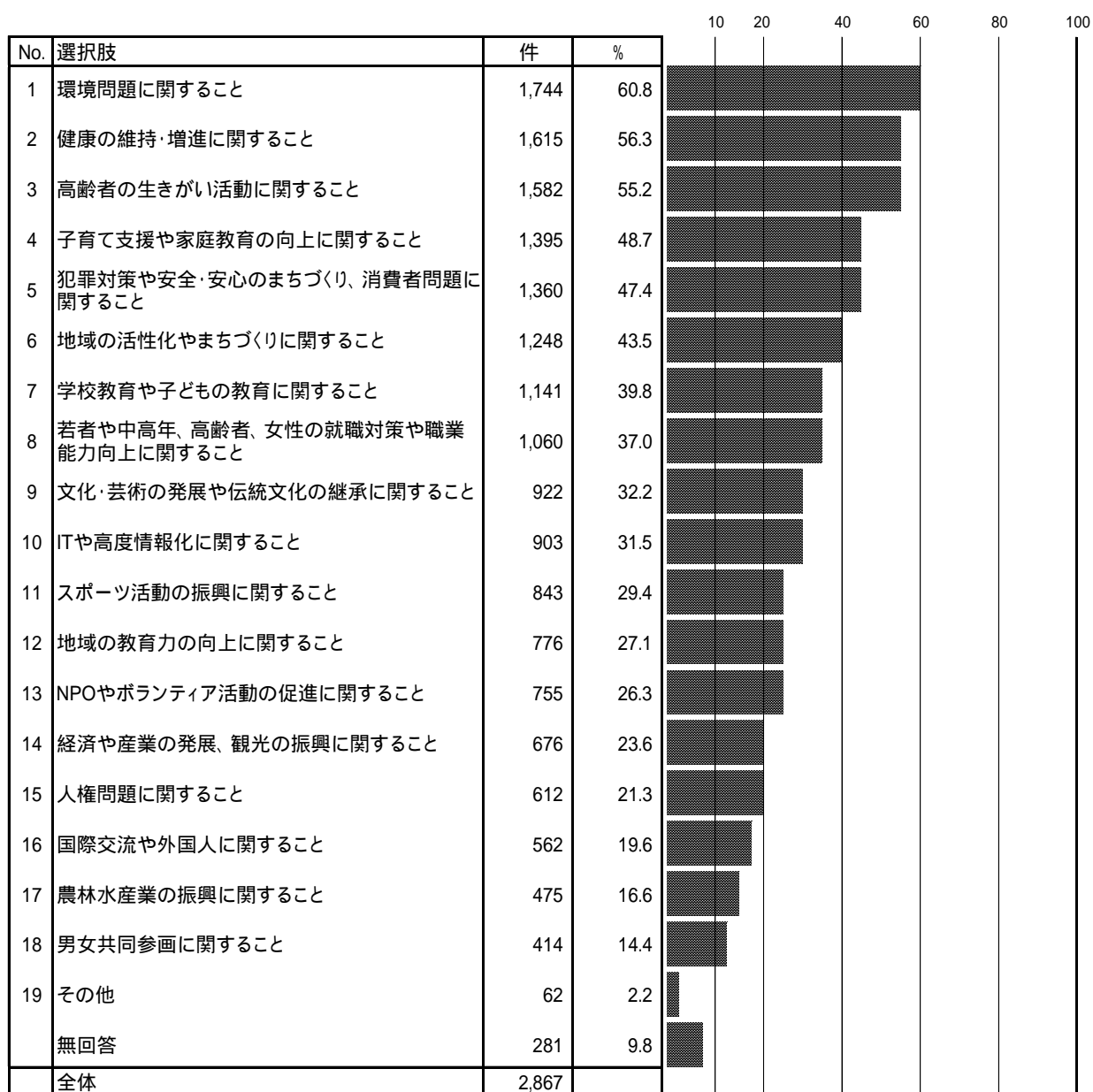
各年代で割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

## 4 - 2 学習活動を進めるにあたっての課題

問 20 今後、人々が学習活動を進めていくにあたって、どのような学習課題が大切だと思いますか。(大切と思われる項目をすべて)

「環境問題」、「健康」、「高齢者の生きがい活動」に関する課題が大切だと考える人が多い

学習活動を進めるにあたっての課題については、「環境問題に関すること」が60.8%で最も多く、次いで「健康の維持・増進に関すること」が56.3%、「高齢者の生きがい活動に関すること」が55.2%という順になっている。



【性別】

全体的にあまり男女差は見られないものの、「ITや高度情報化に関すること」などについては男性の割合が高く、「子育て支援や家庭教育の向上に関すること」などについては女性の割合が高くなっている。

[上段:件、下段:%]

	基数	環境問題に関すること	子育て支援や家庭教育の向上に関すること	地域の教育力の向上に関すること	学校教育や子どもの教育に関すること	健康の維持・増進に関すること	スポーツ活動の振興に関すること	高齢者の生きがい活動に関すること	若者や中高年、高齢者、女性の就職対策や職業能力向上に関すること	人権問題に関すること	男女共同参画に関すること
全体	2,867	1,744 60.8	1,395 48.7	776 27.1	1,141 39.8	1,615 56.3	843 29.4	1,582 55.2	1,060 37.0	612 21.3	414 14.4
男性	1,371	882 64.3	572 41.7	388 28.3	540 39.4	743 54.2	443 32.3	764 55.7	470 34.3	298 21.7	186 13.6
女性	1,478	857 58.0	818 55.3	385 26.0	595 40.3	867 58.7	397 26.9	815 55.1	589 39.9	313 21.2	228 15.4

	NPOやボランティア活動の促進に関すること	ITや高度情報化に関すること	国際交流や外国人に関すること	地域の活性化やまちづくりに関すること	犯罪対策や安全・安心のまちづくり、消費者問題に関すること	文化・芸術の発展や伝統文化の継承に関すること	経済や産業の発展、観光の振興に関すること	農林水産業の振興に関すること	その他	無回答
全体	755 26.3	903 31.5	562 19.6	1,248 43.5	1,360 47.4	922 32.2	676 23.6	475 16.6	62 2.2	281 9.8
男性	337 24.6	505 36.8	260 19.0	616 44.9	639 46.6	456 33.3	362 26.4	267 19.5	27 2.0	113 8.2
女性	417 28.2	395 26.7	302 20.4	630 42.6	717 48.5	466 31.5	313 21.2	207 14.0	35 2.4	159 10.8

各性別で割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【年齢】

20歳代では「犯罪対策や安全・安心のまちづくり、消費者問題に関すること」の割合が最も高く、58.0%となっている。また、40歳代以下では「子育て支援や家庭教育の向上に関すること」の割合が高く、50歳代以上では「高齢者の生きがい活動に関すること」の割合が高くなっており、それぞれ5割以上を占めている。

[上段:件、下段:%]

	基数	環境問題に関すること	子育て支援や家庭教育の向上に関すること	地域の教育力の向上に関すること	学校教育や子どもの教育に関すること	健康の維持・増進に関すること	スポーツ活動の振興に関すること	高齢者の生きがい活動に関すること	若者や中高年、高齢者女性の就職対策や職業能力向上に関すること	人権問題に関すること	男女共同参画に関すること
全体	2,867	1,744 60.8	1,395 48.7	776 27.1	1,141 39.8	1,615 56.3	843 29.4	1,582 55.2	1,060 37.0	612 21.3	414 14.4
20歳代	231	126 54.5	119 51.5	71 30.7	108 46.8	120 51.9	79 34.2	94 40.7	110 47.6	65 28.1	34 14.7
30歳代	380	226 59.5	252 66.3	117 30.8	198 52.1	183 48.2	97 25.5	145 38.2	142 37.4	60 15.8	38 10.0
40歳代	584	358 61.3	316 54.1	170 29.1	261 44.7	339 58.0	195 33.4	270 46.2	271 46.4	124 21.2	82 14.0
50歳代	725	540 74.5	339 46.8	193 26.6	272 37.5	489 67.4	245 33.8	475 65.5	320 44.1	177 24.4	122 16.8
60歳代	567	347 61.2	251 44.3	163 28.7	211 37.2	319 56.3	169 29.8	390 68.8	156 27.5	113 19.9	97 17.1
70歳以上	365	143 39.2	115 31.5	59 16.2	88 24.1	159 43.6	56 15.3	206 56.4	61 16.7	72 19.7	41 11.2

	NPPOやボランティア活動の促進に関すること	ITや高度情報化に関すること	国際交流や外国人に関すること	地域の活性化やまちづくりに関すること	犯罪対策や安全・安心のまちづくり、消費者問題に関すること	文化芸術の発展や伝統文化の継承に関すること	経済や産業の発展、観光の振興に関すること	農林水産業の振興に関すること	その他	無回答
全体	755 26.3	903 31.5	562 19.6	1,248 43.5	1,360 47.4	922 32.2	676 23.6	475 16.6	62 2.2	281 9.8
20歳代	54 23.4	94 40.7	82 35.5	95 41.1	134 58.0	79 34.2	59 25.5	41 17.7	6 2.6	4 1.7
30歳代	83 21.8	109 28.7	89 23.4	137 36.1	185 48.7	102 26.8	69 18.2	39 10.3	8 2.1	8 2.1
40歳代	160 27.4	222 38.0	121 20.7	234 40.1	269 46.1	192 32.9	119 20.4	77 13.2	12 2.1	26 4.5
50歳代	234 32.3	255 35.2	159 21.9	372 51.3	384 53.0	294 40.6	212 29.2	146 20.1	14 1.9	35 4.8
60歳代	175 30.9	177 31.2	80 14.1	295 52.0	255 45.0	185 32.6	160 28.2	112 19.8	9 1.6	90 15.9
70歳以上	48 13.2	46 12.6	31 8.5	113 31.0	132 36.2	70 19.2	56 15.3	57 15.6	13 3.6	110 30.1

各年代で割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

#### 4 - 3 学習活動で身につけた知識・技能の評価

問 21 あなたは、人々が学習活動を通して身につけた知識や技能などについて、どのように評価するとよいと思いますか。(学習活動ごとに2つまで)

「評価する必要はない」という人が全体的に多い

学習活動を通して身につけた知識・技能の評価については、全体的には「評価する必要はない」、「指導者として人材登録する」、「修了証・認定証などを渡す」の割合が高くなっている。

学習活動の分野別に見ると、『教養的なもの』、『健康・スポーツに関するもの』、『子育て・教育に関するもの』、『家庭生活に必要な知識・技術』では、「評価する必要はない」の割合が最も高くなっている。

また、『趣味的なもの』では「成果を発表する機会を設ける」の割合が、『仕事に必要な知識・技能』では「就職や昇給にあたって評価する」の割合が、『社会的課題に関すること』、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「指導者として人材登録する」の割合が、『ITに関すること』では「修了証・認定証などを渡す」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

[上段:件、下段:%]

	基数	指導者として人材登録する	公的資格の取得にあつて評価する	修了証・認定証などを渡す	成果を発表する機会を設ける	就職や昇給にあつて評価する	大学などの学校の単位として認める	学習履歴を記録する生涯学習パスポートのようなものをつける	評価する必要はない	無回答
合計	28,670	5,139 17.9	2,528 8.8	4,388 15.3	3,765 13.1	1,721 6.0	779 2.7	1,948 6.8	5,693 19.9	8,971 31.3
趣味的なもの	2,867	531 18.5	116 4.0	452 15.8	1,068 37.3	28 1.0	10 0.3	156 5.4	810 28.3	529 18.5
教養的なもの	2,867	458 16.0	208 7.3	493 17.2	418 14.6	72 2.5	213 7.4	391 13.6	606 21.1	684 23.9
健康・スポーツに関すること	2,867	691 24.1	160 5.6	465 16.2	431 15.0	39 1.4	30 1.0	211 7.4	800 27.9	646 22.5
子育て・教育に関すること	2,867	614 21.4	169 5.9	229 8.0	433 15.1	30 1.0	53 1.8	213 7.4	873 30.4	749 26.1
家庭生活に必要な知識・技術	2,867	536 18.7	121 4.2	507 17.7	538 18.8	63 2.2	19 0.7	171 6.0	826 28.8	714 24.9
仕事に必要な知識・技術	2,867	349 12.2	699 24.4	653 22.8	126 4.4	883 30.8	61 2.1	70 2.4	241 8.4	700 24.4
社会的課題に関すること	2,867	565 19.7	417 14.5	411 14.3	336 11.7	124 4.3	167 5.8	306 10.7	477 16.6	738 25.7
ボランティア活動等に関する知識・技術	2,867	801 27.9	236 8.2	394 13.7	317 11.1	133 4.6	137 4.8	290 10.1	549 19.1	681 23.8
ITに関すること	2,867	588 20.5	400 14.0	782 27.3	96 3.3	349 12.2	89 3.1	137 4.8	456 15.9	731 25.5
その他	2,867	6 0.2	2 0.1	2 0.1	2 0.1	0 0.0	0 0.0	3 0.1	55 1.9	2,799 97.6

各学習分野で割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示(無回答は除く)

#### 4 - 4 学習活動に対して期待する機関等

問 22 あなたは、今後人々の学習活動をさらに盛んにするために、誰に最も期待しますか。(学習活動ごとに最も期待する者を1つだけ)

「行政」、「公立の学習施設」、「個人」、「民間事業者」に対する期待が全体的に大きい

学習活動を盛んにするために期待する機関等については、全体的には「行政」、「公立の学習施設」、「個人」、「民間事業者」の割合が高くなっている。

学習活動の分野別に見ると、『子育て・教育に関すること』、『仕事に必要な知識・技術』、『社会的課題に関すること』では、「行政」の割合が最も高くなっている。

また、『趣味的なもの』では「個人」の割合が、『教養的なもの』では「公立の学習施設」の割合が、『健康・スポーツに関すること』、『家庭生活に必要な知識・技術』、『ITに関すること』では、「民間事業者」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

[上段:件、下段:%]

	基数	個人	行政	公立の学習施設	民間事業者	大学 学校	NPO 団体	無回答
合計	28,670	3,138 10.9	4,875 17.0	4,068 14.2	3,101 10.8	1,641 5.7	1,883 6.6	9,964 34.8
趣味的なもの	2,867	875 30.7	144 5.0	589 20.5	476 16.6	24 0.8	47 1.6	712 24.8
教養的なもの	2,867	210 7.3	415 14.5	687 24.0	142 5.0	584 20.4	46 1.6	783 27.2
健康・スポーツに関すること	2,867	392 13.7	359 12.5	578 20.2	639 22.3	78 2.7	87 3.0	734 25.6
子育て・教育に関すること	2,867	232 8.1	1,027 35.9	421 14.7	103 3.6	173 6.0	90 3.1	821 28.6
家庭生活に必要な知識・ 技術	2,867	579 20.2	149 5.2	634 22.1	633 22.1	34 1.2	57 2.0	781 27.2
仕事に必要な知識・技術	2,867	284 9.9	716 25.0	208 7.3	451 15.7	320 11.2	66 2.3	822 28.6
社会的課題に関すること	2,867	93 3.2	1,295 45.2	229 8.0	52 1.8	134 4.7	261 9.1	803 28.0
ボランティア活動等に関する 知識・技術	2,867	143 5.0	461 16.1	182 6.3	44 1.5	41 1.4	1,185 41.4	811 28.3
ITに関すること	2,867	312 10.9	309 10.8	537 18.7	559 19.5	245 8.5	44 1.5	861 30.1
その他	2,867	18 0.6	0 0.0	3 0.1	2 0.1	8 0.3	0 0.0	2,836 98.9

各学習分野で割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示(無回答は除く)